

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2092100052		
法人名	社会福祉法人御代田町社会福祉協議会		
事業所名	グループホームきくちゃん家		
所在地	長野県北佐久郡御代田町馬瀬口1789-8		
自己評価作成日	令和元年 7月11日	評価結果市町村受理日	令和元年 9月24日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&ujyosyoCd=2092100052-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和元年 8月 7日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成12年に宅老所から始まり、目の前のたった一人のニーズに合ったサービスを展開してきた中から、グループホームが出来た。地域密着型の施設になった事でより深く地域と繋がる施設となった。入居者の全てが地域と密接な関係を保てる様、職員が間に入り、地域行事、サロン活動等に積極的に参加している。又掲げている理念をもとに入居者、又その家族の想いには出来る限り応えるよう、入居者一人一人と個別に関わる時間を作り満足感や達成感が得られるような支援を心掛けている。月に数回は施設から外出し、施設外の空気や季節ごとの風景を肌で感じてもらうようにしている。また、家族とは疎遠にならないよう行き来しやすい環境を作り、外出を行ったり受診など積極的にかかわってもらっている。地域密着型サービスの意義を理解し、地域住民の拠り所となって、住民の認知症、住民参加型の社会福祉の理解と協力を進めていきたい。その為に年に1度全町民対象に区民と一緒に「街かど福祉講演会」を開催している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

浅間山の麓、高原野菜の畑や水田が広がるなどらかな裾野に認知症通所介護の宅老所と併設された当ホームがある。「誰もが住み慣れた町でその人らしい生活を求めそして住み続けられるために」という、職員が法人の理念を基に検討を重ねて作ったホーム独自の理念のもと、宅老所との合同連携会議でその主旨を確認したり、法人の研修に参加し意識を高めている。ホームの前身がケアホームということもあり、地域住民との関わりが密接で、ホームの非常時には近隣住民の協力を得ることが可能で、区として組織している自衛消防隊にも2名の職員が参画し区の防災訓練にも関わっている。また、様々なボランティアが来訪したり近隣の小学生との交流もあり、特に、小学校の音楽会や運動会に招待されたり、同じ小学校のボランティア委員が来訪しふれあったり、中学生の職場体験を受け入れるなど、地域の人々と交流している。小学校のボランティア委員はホーム内外の清掃や窓ふき、アルミ缶回収で得た資金で車イスなどを購入しホームに寄贈している。また、運営推進委員会では利用状況や行事、地域との連携、日常の様子、事故報告、防災などについて話し合っている。委員からの発言も活発で意見や助言もあり、職員は真摯に向き合い、改善に向けて検討を重ね、地域の人々の親密な関係づくりに努めている。法人としても福祉講演会や認知症サポーター養成講座を開催しており、暮らしやすい地域づくりのためその一端を担っている。家族との関わりでは日常の面会はもちろんのこと、夏祭りや食事会にも家族に参加していただき利用者との関わりが途切れないようにすると共に、ホームだよりや個別のおたよりで家族とのコミュニケーションも図っている。ホームの日々の暮らしの中で、利用者にとって安心できる場所、落ち着ける場所、頼れる場所であるように、一人ひとりの利用者に合わせて支えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができて (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		